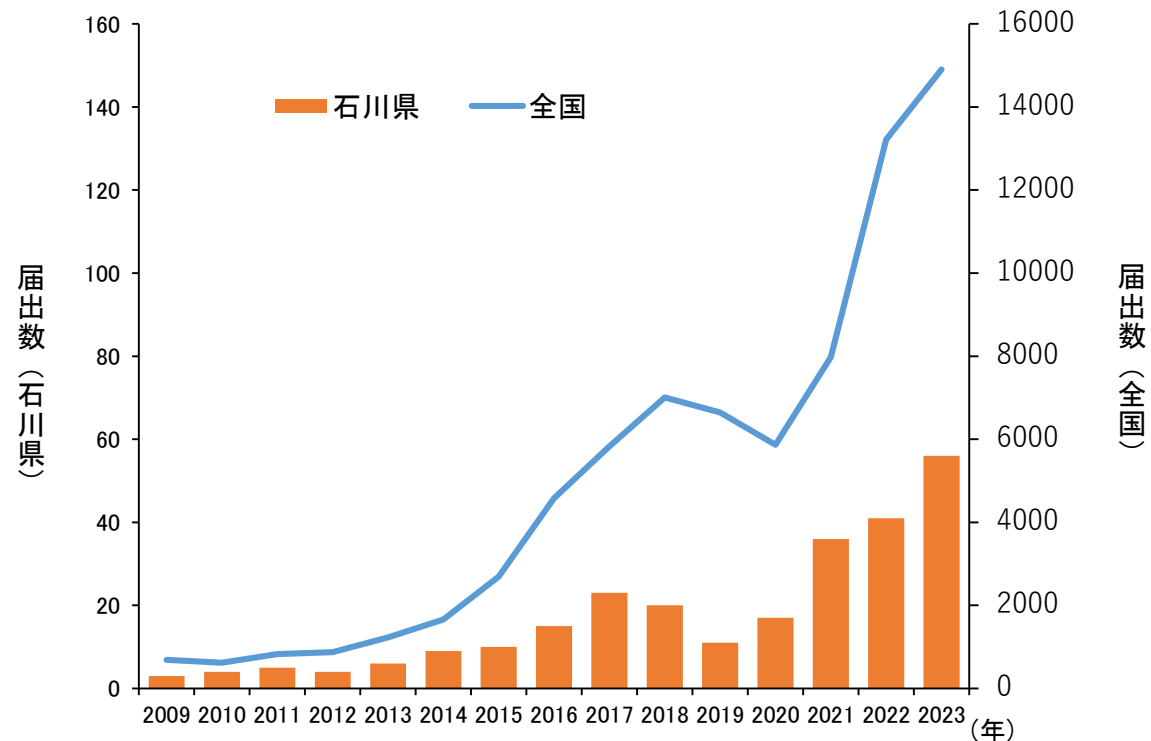


# 梅毒

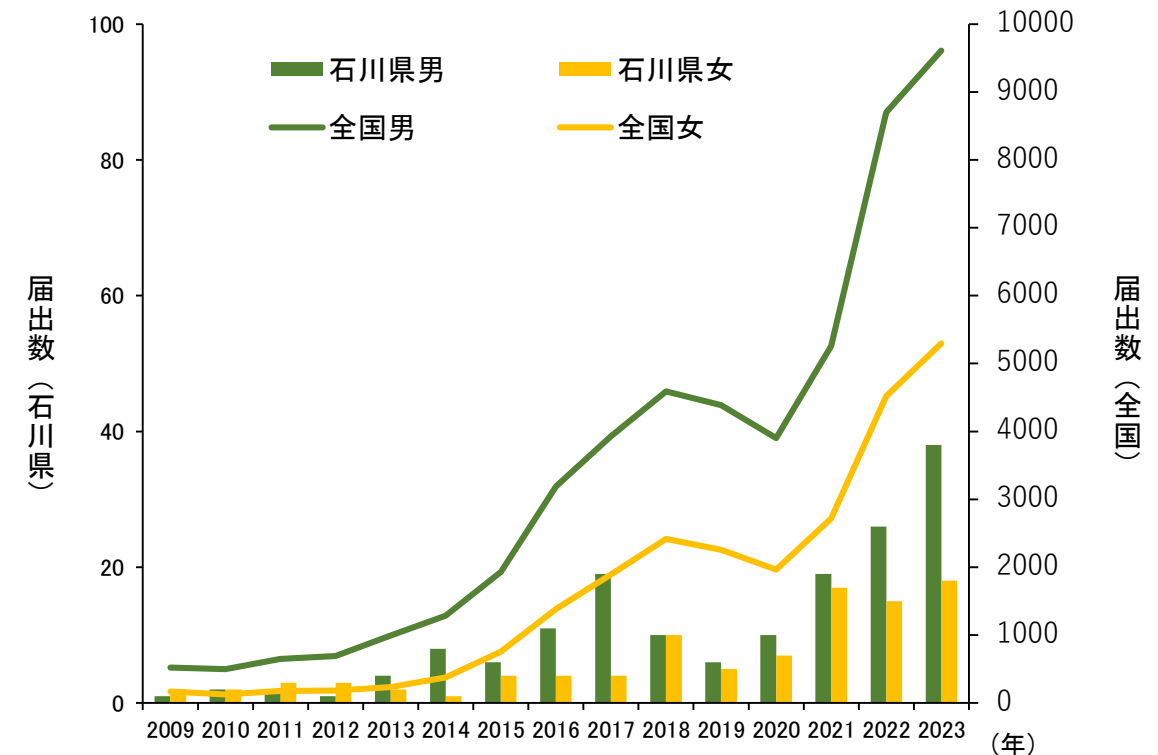
# 1. 届出数の推移

- 2023年の届出数は石川県、全国ともに増加しており、1999年の発生動向調査開始以降、最も多かった
- 石川県の届出数は、全国と比べると低い傾向である
- 石川県では男性が増加傾向、女性は2021年から横ばいで推移している

(1) 届出数



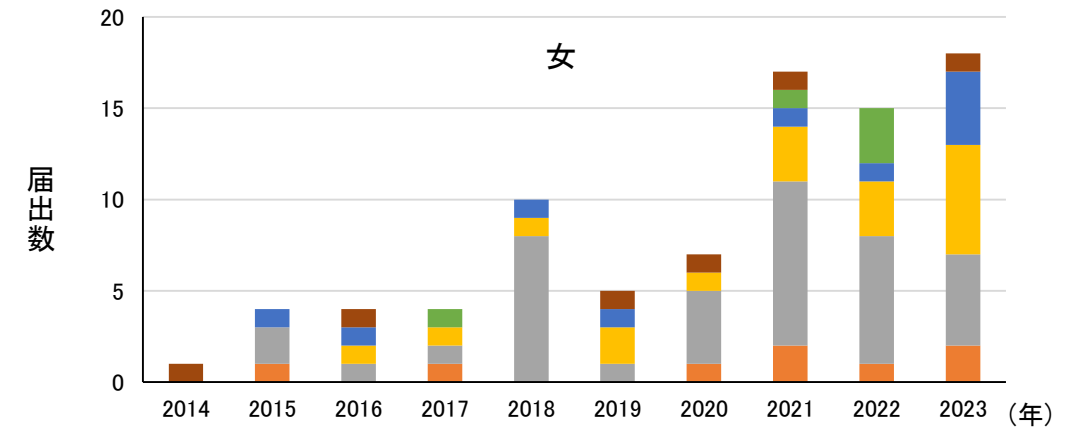
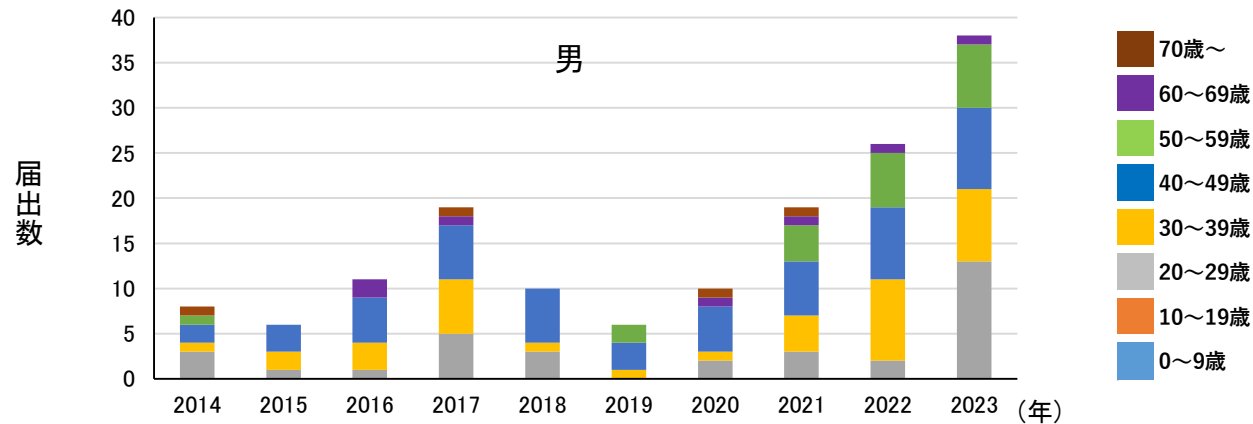
(2) 性別届出数



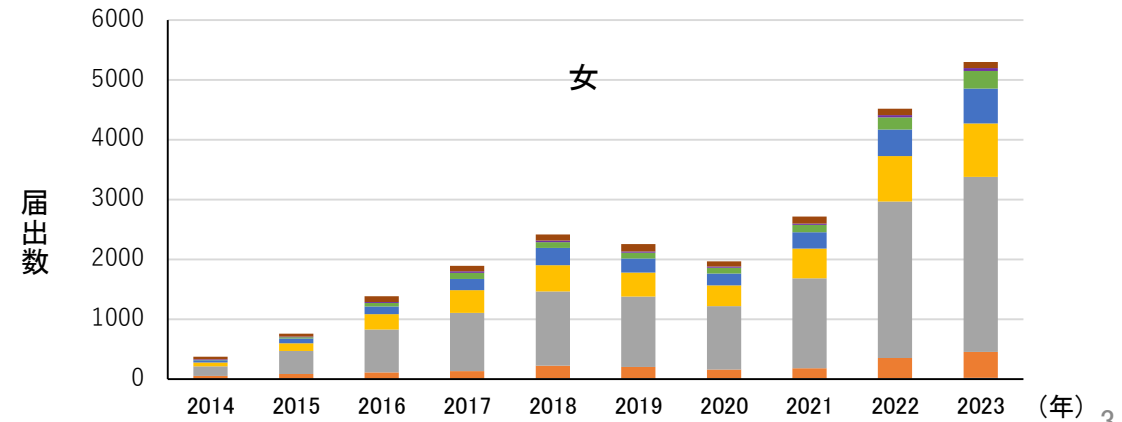
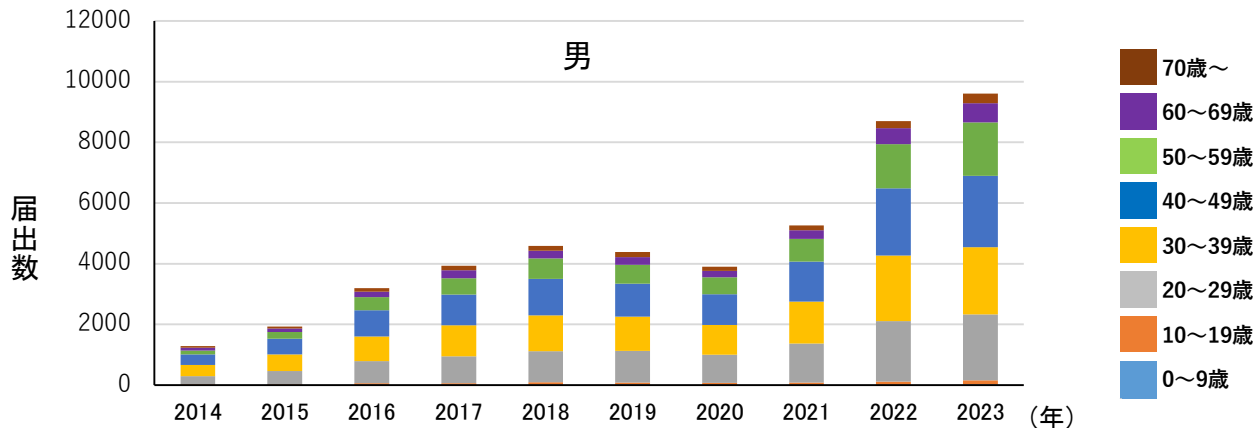
## 2. 性別・年齢階級別

- 全国では、男性は20～50代、女性は20代が多かった
- 石川県では、2023年に20代男性と30代～40代の女性が増加した

### (1) 石川県



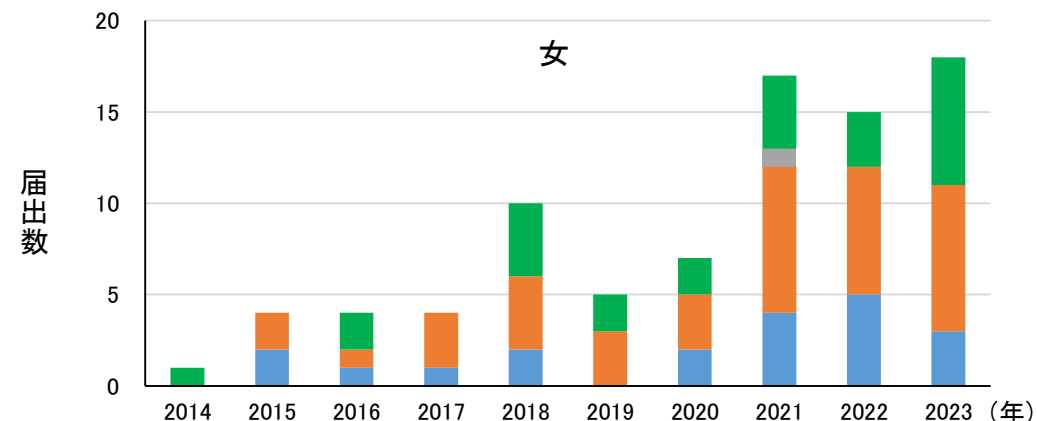
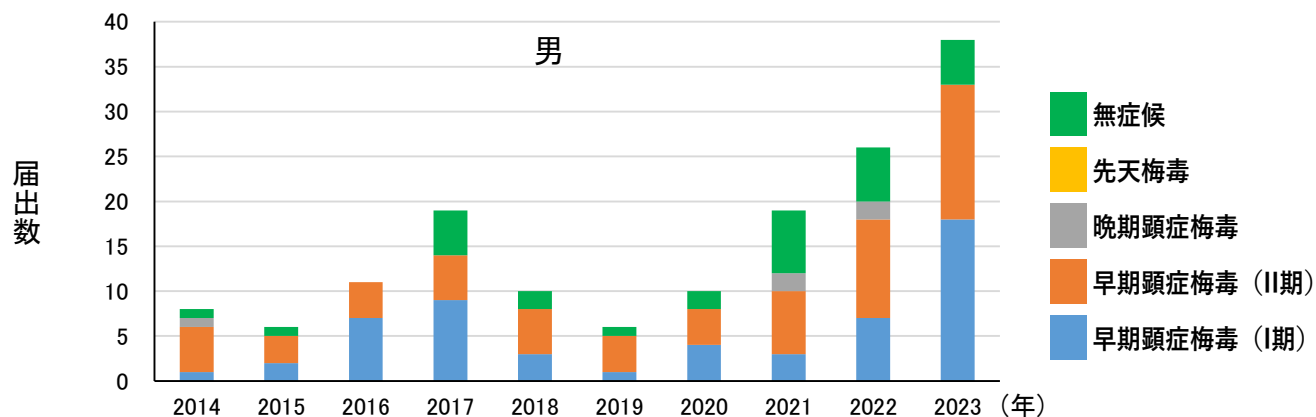
### (2) 全国



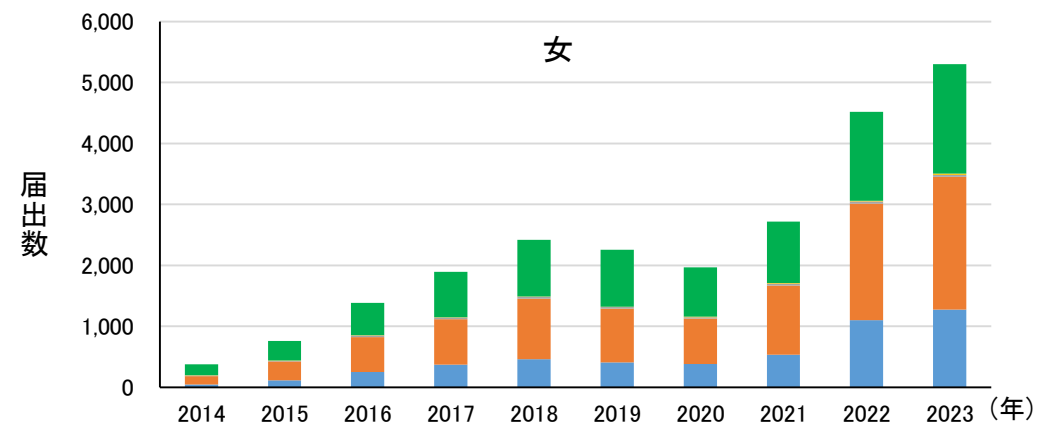
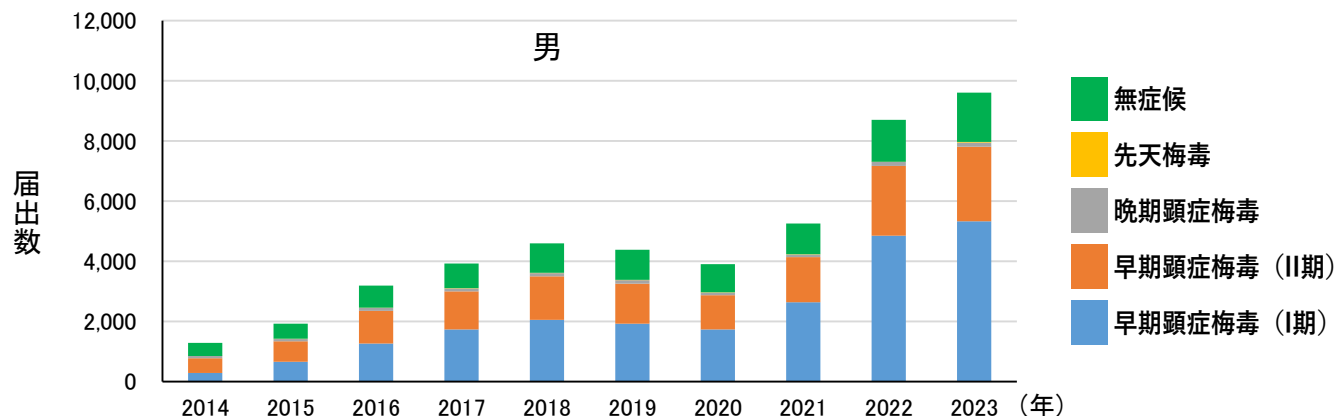
# 3. 病期別

- 2023年の石川県の届出数は全国同様、男性はI期、女性はII期が多く、特に男性 I期の増加が顕著だった

(1) 石川県

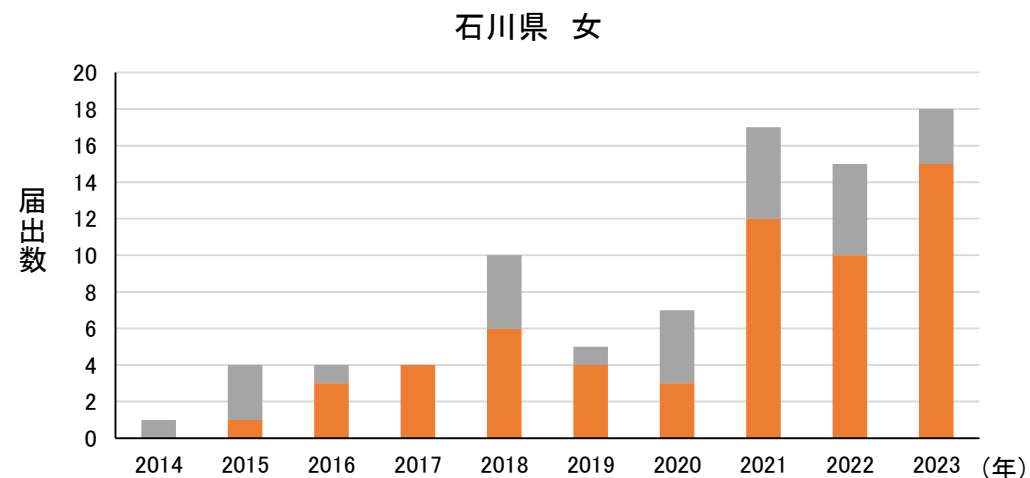
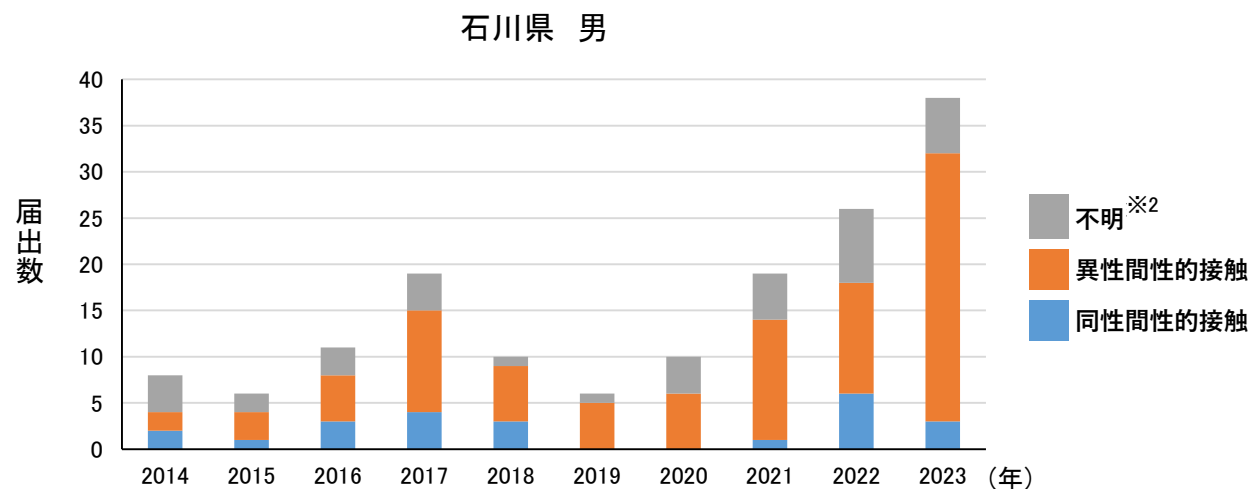


(2) 全国



## 4. 推定感染経路別

- 石川県では、男女ともに全国同様、異性間性的接触が多く、増加傾向にある
- 国の報告によると、男性は2015年より異性間性的接触による感染が同性間性的接触による感染を上回り、その後男女とも異性間性的接触による感染の増加が顕著になっている※1



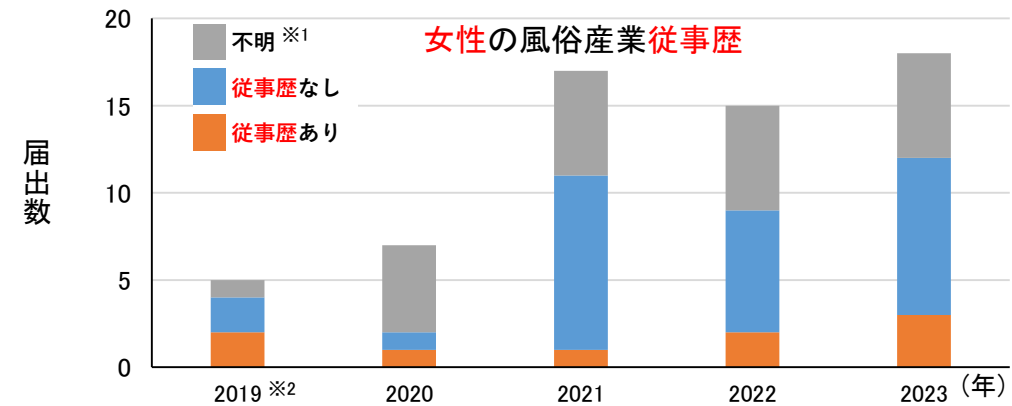
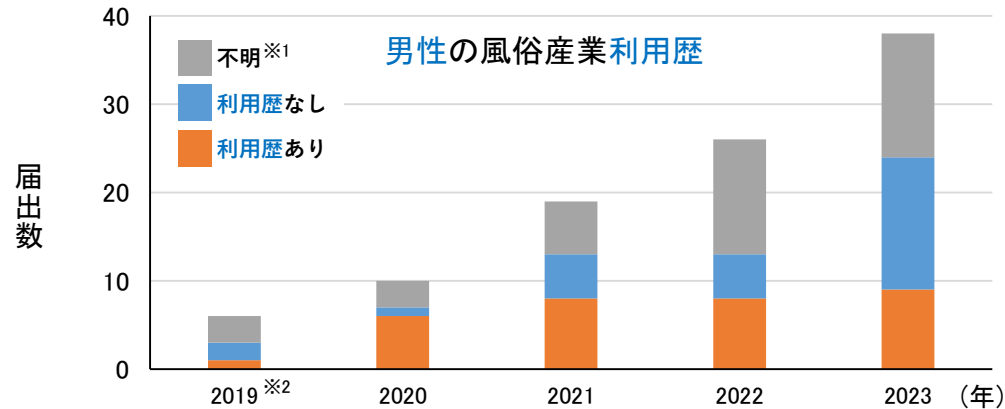
※1: 病原微生物検出情報 Vol44 p187-189(2023年12月発行 国立感染症研究所)より

※2: 不明は届出情報に記載なしも含む

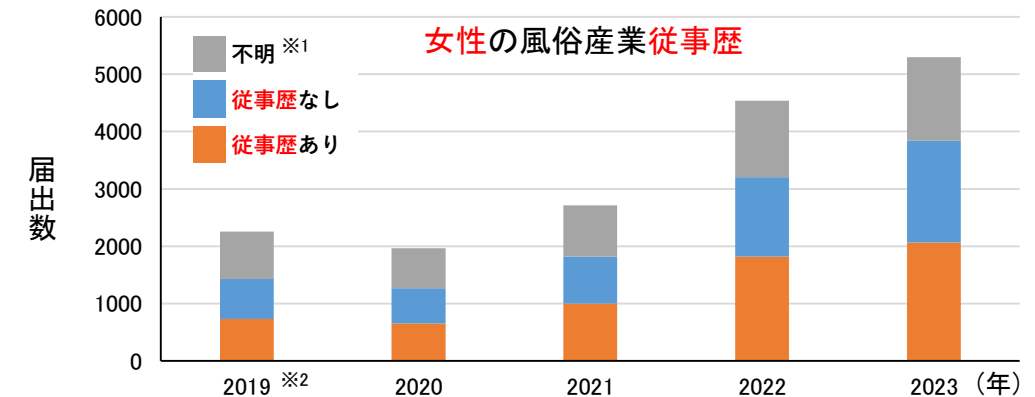
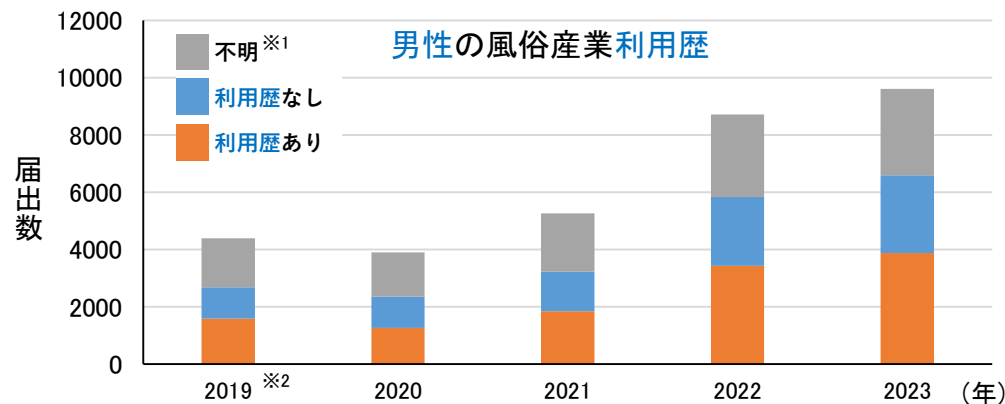
## 5. 風俗産業の利用歴と従事歴

- 石川県では男性の風俗産業利用歴、女性の従事歴の割合が全国に比して低いですが、不明が多いことから、今後も注視していく必要がある

### (1) 石川県



### (2) 全国

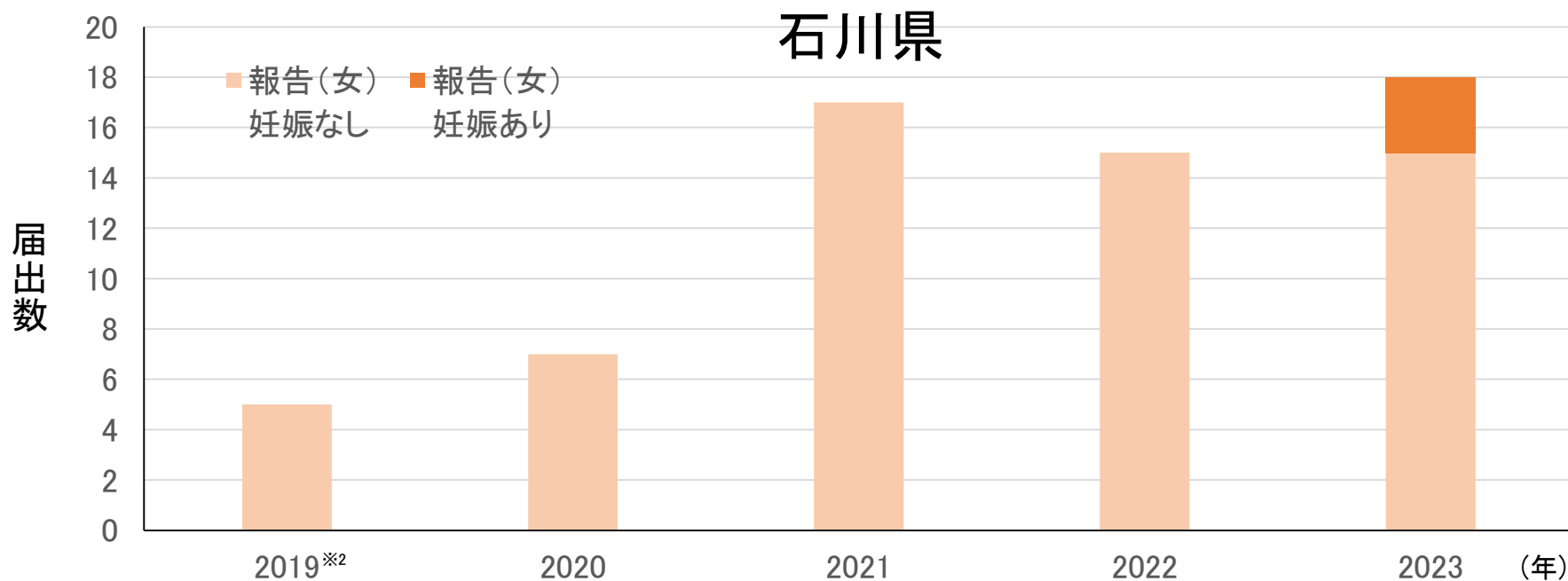


※1: 不明は届出情報に記載なしも含む

※2: 2019年より感染症発生動向調査の項目に、性風俗産業従事歴、利用歴の有無が加えられた

## 6. 妊娠の有無

- 石川県では、2023年に妊娠症例の届出が3人あった
- 国の報告によると、2019年以降、毎年200例前後（全女性症例の7～9%）届出されている※1



※1: 病原微生物検出情報 Vol44 p197-198(2023年12月発行 国立感染症研究所)より

※2: 2019年より感染症発生動向調査の項目に、妊娠の有無が加えられた

## 7. 先天梅毒

- 全国における先天梅毒の届出数は増加傾向である
- 石川県では1999年の発生動向調査開始以降、届出はない

